



2022年8月9日

各位

会社名 株式会社オークネット
代表者名 代表取締役社長 COO 藤崎 慎一郎
(コード番号: 3964 東証プライム市場)
問合せ先 取締役常務執行役員 CFO 谷口 博樹
(TEL. 03-6440-2552)

2022年12月期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2022年2月14日決算発表時に公表した2022年12月期(2022年1月1日～2022年12月31日)の連結業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 通期業績予想の修正について

(1) 2022年12月期通期連結業績予想数値の修正 (2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 38,329	百万円 6,000	百万円 6,150	百万円 4,054	円 銭 145.03
今回修正予想(B)	40,270	6,480	6,743	4,288	155.07
増減額(B-A)	1,941	480	593	234	
増減率(%)	5.1%	8.0%	9.6%	5.8%	
(ご参考)前期実績 (2021年12月期)	36,710	5,846	6,113	3,625	130.56

(2) 修正の理由

第2四半期累計期間の業績については、厳しい事業環境を前提としていたものの、デジタルプロダクツ事業及びコンシューマープロダクツ事業の業績が下記の通り好調に推移し、当初の予想を上回りました。デジタルプロダクツ事業においては、会員数が前年同期比で32.4%増加したことによるバイイングパワーの増大に加え、円安も追い風となり取扱高が増加し、当初の予想と比較し増収増益となりました。コンシューマープロダクツ事業においては、B2B事業での出品点数の増加や平均成約単価の高値維持により取扱高が増加したことや、C向け事業でのプロダクトマネジメント強化等により、当初の予想と比較し増収増益となりました。

第3四半期以降の業績については、来期以降のさらなる事業拡大のため、人財採用や育成及び新規ビジネスや広告宣伝等への積極的な投資を計画しております。四輪事業は、半導体不足による新車の長納

期化やメーカーの減産等による新車供給不足の影響が解消される目途が立っていないため前年並みの業績を見込んでおります。デジタルプロダクツ事業は、第3四半期以降に新型スマートフォンの発表があることを前提として、流通台数の改善を想定しております。コンシューマープロダクツ事業においては、海外バイヤー網の強化やギャラリーレアとのシナジーを追求していき、引き続き緩やかな業績の上昇を見込んでおります。

以上の事由により、当社グループの2022年12月期の通期連結業績予想は当初の予想を上回る見通しとなりました。

2. 配当予想の修正について

(1) 2022年12月期配当予想の修正 (2022年1月1日～2022年12月31日)

基準日	1株当たりの配当金		
	第2四半期末	期末	年間合計
前回予想 (2022年2月14日発表)		22円00銭	44円00銭
今回修正予想		24円00銭	47円00銭
当期実績	23円00銭		
(ご参考)前期実績 (2021年12月期)	19円00銭	21円00銭	40円00銭

(2) 修正の理由

当社グループでは、株主の皆様への利益還元を経営における最重要課題のひとつと位置づけています。将来の事業展開と経営体質の強化及び設備投資等に備えた内部留保を確保しつつ、連結配当性向30%を目標として、継続的な配当を行うことを基本方針としています。

2022年12月期の配当予想につきましては、上記の方針及び業績予想の修正等の状況を勘案し、年間配当予想は47円とすることといたしました。

※ 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上